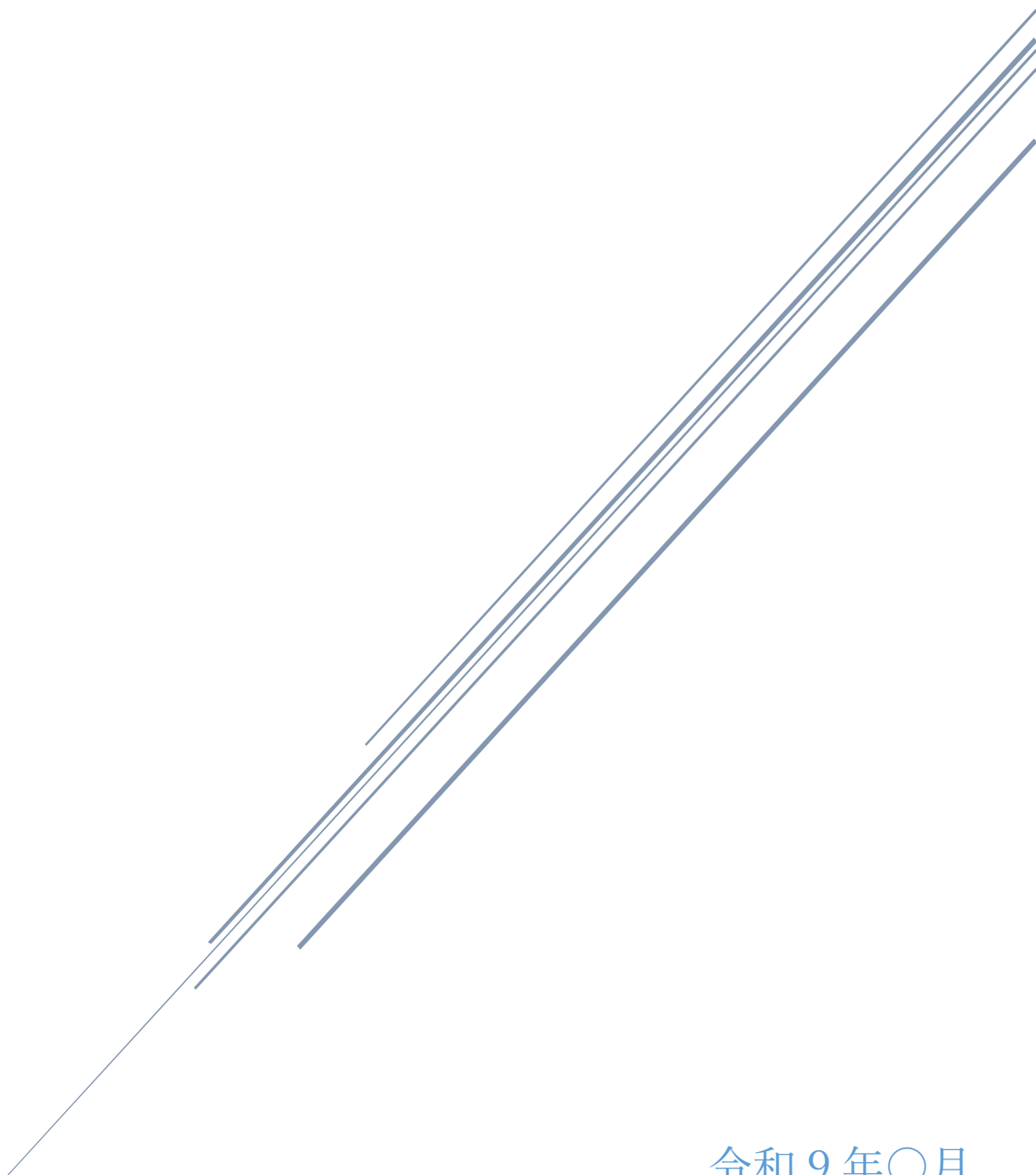


印西市スポーツ推進基本計画



令和 9 年〇月

印西市

目 次

第1章 計画の概要	2
1 計画策定の背景と目的	2
2 計画の位置づけ	3
3 計画期間	4
4 計画の対象	4
5 計画の推進体制	5
6 計画策定の視点（SDGs）	6
第2章 スポーツを取り巻く現状と課題	7
1 印西市のスポーツを取り巻く現状と課題	7
2 分野別にみる現状と課題	9
（1）こどもたちのスポーツ環境	9
（2）生涯スポーツ	9
（3）競技スポーツ	10
（4）スポーツを支える人材	10
（5）スポーツ環境	10
第3章 計画の基本的な考え方	12
1 基本理念	12
2 基本方針	12
3 施策体系	13
4 施策体系図	14
第4章 施策の展開	15
基本方針1 こどもたちへのスポーツの多様な選択肢の提供	15
基本方針2 生涯にわたるスポーツ機会の創出	16
基本方針3 世界を目指すトップアスリートへの支援	17
基本方針4 スポーツを通じた共生社会・地域連携の推進	18
基本方針5 スポーツ環境の充実	19
第5章 計画の推進	21
1 計画の推進	21
2 成果指標	21
3 進行管理・評価	21

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

スポーツは、心身の健康の保持・増進や体力の向上だけでなく、こどもの健全な成長、生きがいづくり、人と人との交流、地域コミュニティの活性化など、市民生活に多様な価値をもたらします。また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という様々な形で関わることは、誰もが豊かで充実した生活を送るための重要な要素となっています。

平成23年にスポーツ基本法が施行され、スポーツは国民一人ひとりの豊かな生活や健康づくり、地域社会の活性化を支えるものとして位置付けられました。国では、「第3期スポーツ基本計画」において、「つくる／はぐくむ」「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」の3つの視点を掲げ、生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりや、多様な主体との連携によるスポーツの社会的価値の向上を推進しています。また、千葉県においても、「千葉県スポーツ推進計画」に基づき、生涯スポーツの振興や競技力向上、障がい者スポーツの推進など、多様なスポーツ施策を展開しています。さらに、全国的に学校部活動の地域連携・地域展開が進められるなど、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しており、地域におけるスポーツ活動の受け皿づくりや指導者の確保・育成などが求められています。

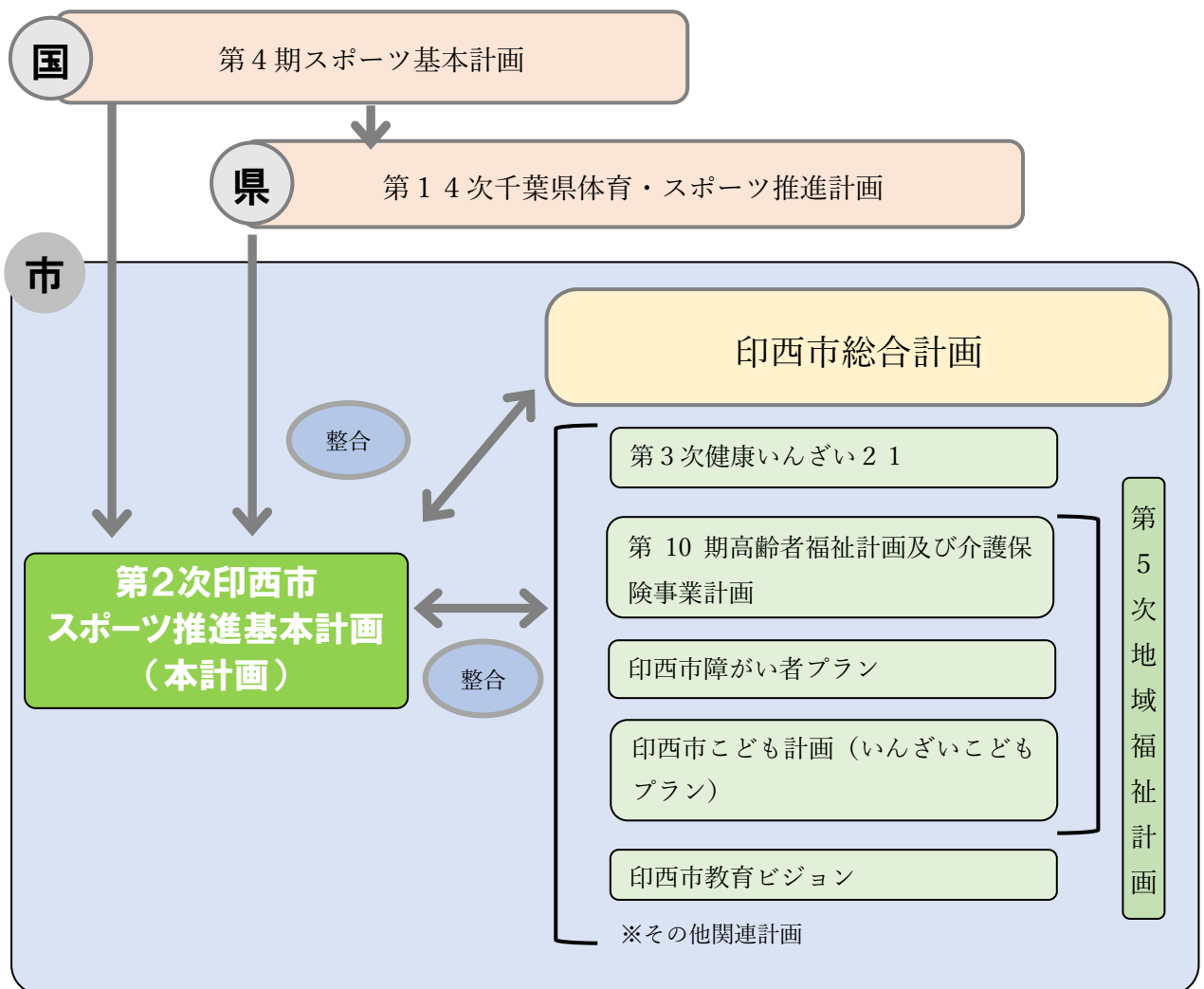
本市は、豊かな公園環境や充実したスポーツ施設を有するとともに、比較的若い世代が多く暮らすまちとして、スポーツに親しみやすい環境に恵まれています。また、順天堂大学をはじめとした教育機関や、本市ゆかりのトップアスリート、トップチームとのつながりなど、スポーツ振興につながる地域資源を有しています。こうした特色を生かしながら、本市ではスポーツ施設の整備・運営やスポーツイベント・教室の開催、スポーツ関係団体への支援などを通じて、市民がスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めてきました。一方、市民アンケート、小学生アンケート及びスポーツ関係団体への聞き取り調査では、こどもが多様なスポーツに触れる機会の充実、生涯にわたりスポーツに親しめる環境づくり、スポーツを支える人材の育成、競技スポーツへの支援、スポーツ施設の利用環境の向上などが課題として挙げられています。こうした国や県の動向、本市の特色や現状・課題を踏まえ、市民一人ひとりがライフステージに応じてスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康で活力ある地域社会を実現するため、本計画を策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項に基づく地方スポーツ推進計画です。

また、本市のまちづくりの最上位計画である「印西市総合計画（令和3年度～令和12年度）」を上位計画とし、国の「第3期スポーツ基本計画」及び千葉県スポーツ推進計画との整合を図るとともに、教育、健康、福祉、こども・子育て、障がい者福祉などの関連計画との連携を図りながら、スポーツ施策を総合的かつ計画的に推進します。

計画の位置づけ（体系図を掲載）



3 計画期間

本計画の計画期間は、令和9年度から令和13年度までの5年間とします。

なお、計画期間中においても、国・県の動向や社会情勢、市民ニーズの変化などを踏まえながら計画を推進するとともに、中間年度において進捗状況を検証し、必要に応じて施策や事業の見直しを行います。

計画の期間（イメージ図）

【本計画及び関連計画の期間】

年度（令和） 主な計画	8	9	10	11	12	13
印西市総合計画 （令和3年度～ 令和12年度）						
第3次 健康いんざい21 （令和7年度～ 令和18年度）						
印西市教育ビジョン						
第2次印西市 スポーツ推進基本計画 （本計画）						

4 計画の対象

本計画は、市民をはじめ、スポーツ関係団体、学校、企業、地域団体など、本市のスポーツに関わるすべての主体を対象とします。

また、こどもから高齢者まで、障がいの有無、性別、国籍にかかわらず、誰もがライフステージや目的に応じてスポーツに親しみ、「する」「みる」「ささえる」といった多様な関わり方ができる環境づくりを推進します。

5 計画の推進体制

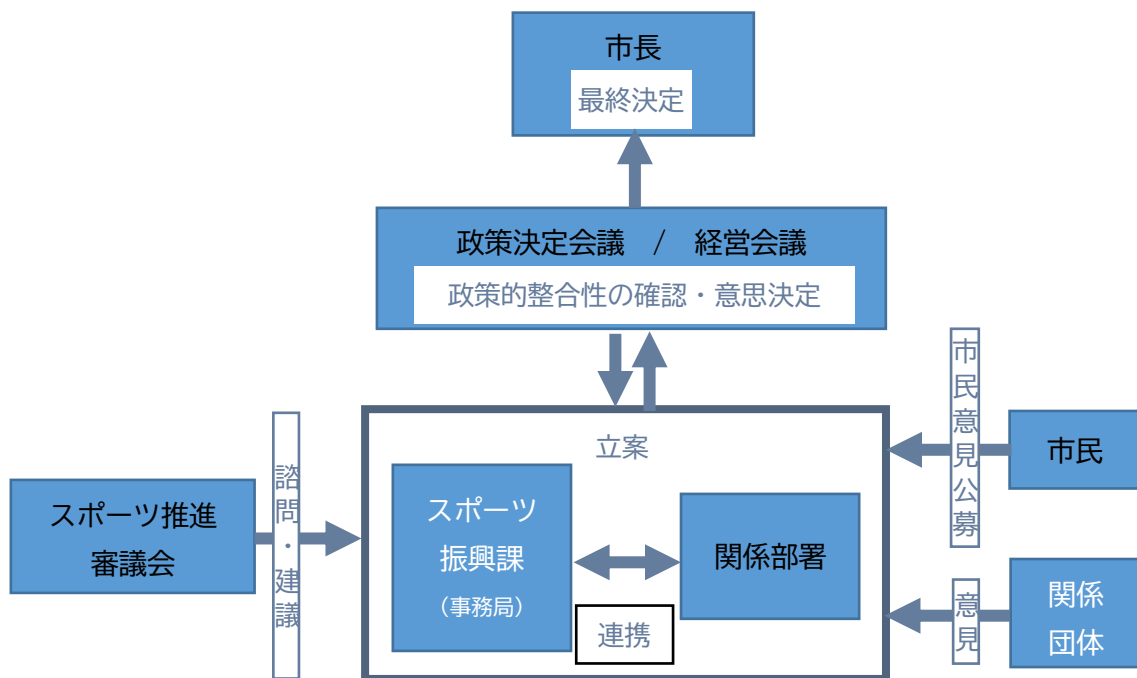
本計画は、市、市民、スポーツ関係団体、学校等教育施設、企業及び関係機関など、多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、相互に連携・協力して推進します。

また、施策の実施状況や成果指標の達成状況を定期的に把握・検証し、印西市スポーツ推進審議会の意見を踏まえながら、PDCA サイクルによる進行管理を行います。

さらに、市民やスポーツ関係団体の意見を継続的に把握し、社会情勢や地域ニーズの変化に対応した実効性の高いスポーツ施策を推進します。

計画の推進体制（イメージ図）

【体制のイメージ図】



6 計画策定の視点（SDGs）

図表入る

【載せる内容】

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

第2章 スポーツを取り巻く現状と課題

1 印西市のスポーツを取り巻く現状と課題

【調査概要】

本計画の策定に当たり、市民、小学生及びスポーツ関係団体を対象にアンケート調査及び聞き取り調査を実施しました。

■市民アンケート

調査対象：15歳以上の市民3,000名

回答数：1,069件

■小学生アンケート

調査対象：市内小学5年生1,327名（令和8年2月1日時点）

回答数：705件

■スポーツ関係団体ヒアリング（聞き取り調査）

対象団体：68団体

実施時期：令和7年11月

本計画の策定に当たり実施した市民アンケート、小学生アンケート及びスポーツ関係団体への聞き取り調査の結果に加え、本市のスポーツを取り巻く状況を踏まえ、現状と課題を整理します。

本市では、スポーツ施設の整備やスポーツ教室・イベントの開催、スポーツ関係団体への支援などを通じて、市民がスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めてきました。また、本市を拠点又は活動地域とするトップアスリートやトップチーム、順天堂大学など地域資源との連携により、スポーツ振興を推進しています。

一方で、少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化に加え、学校部活動の地域連携・地域展開など、スポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。また、市民のスポーツニーズも多様化しており、ライフステージや目的に応じたスポーツ機会の充実が求められています。

市民アンケート、小学生アンケート及びスポーツ関係団体への調査から、スポー

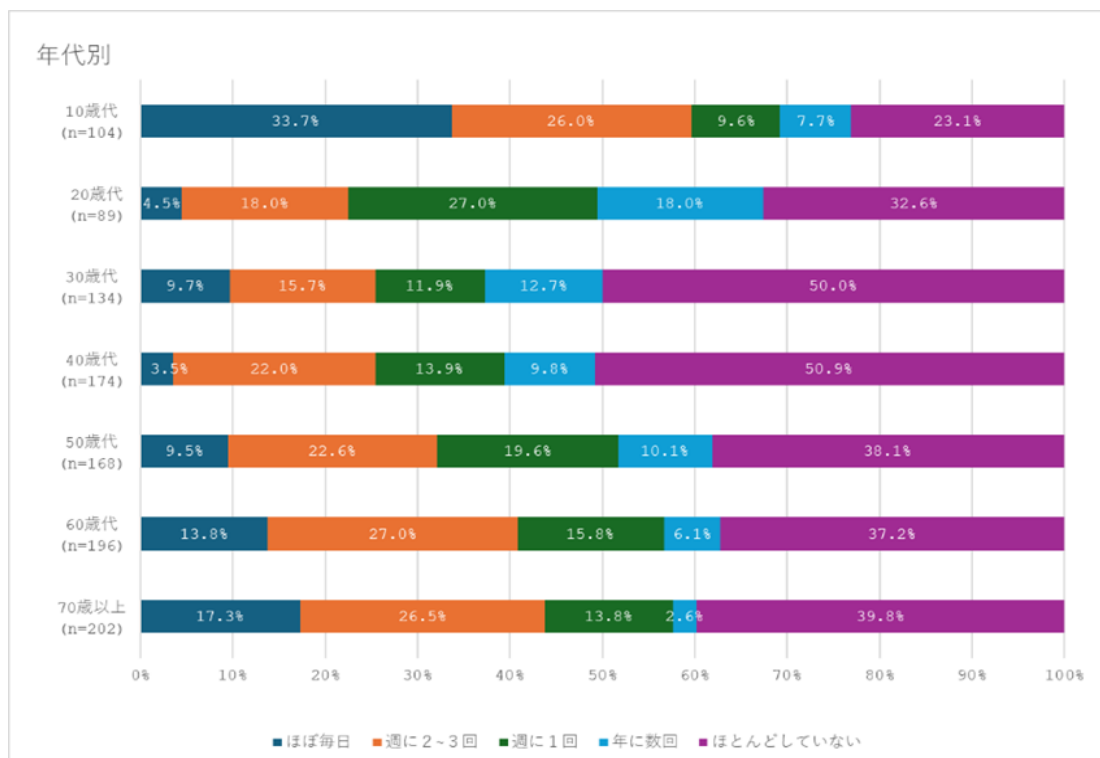
ツへの関わり方や期待する取組には世代や立場による違いが見られる一方で、スポーツ機会の充実、人材の確保・育成、スポーツ施設の利便性向上及び情報発信の充実などが共通した課題として挙げられました。

これらの課題を踏まえ、本市では、こどもから高齢者まで、誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができる環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じた健康づくりや地域交流、共生社会の実現に向けた取組を推進していく必要があります。

【本市のスポーツ推進における主な課題】

- ① こどもたちのスポーツ機会の充実
- ② 生涯にわたるスポーツ機会の創出
- ③ 競技スポーツの振興とトップアスリート支援
- ④ スポーツを支える人材の確保・育成
- ⑤ スポーツ環境の充実

【普段とのくらいの頻度で運動スポーツをしていますか】



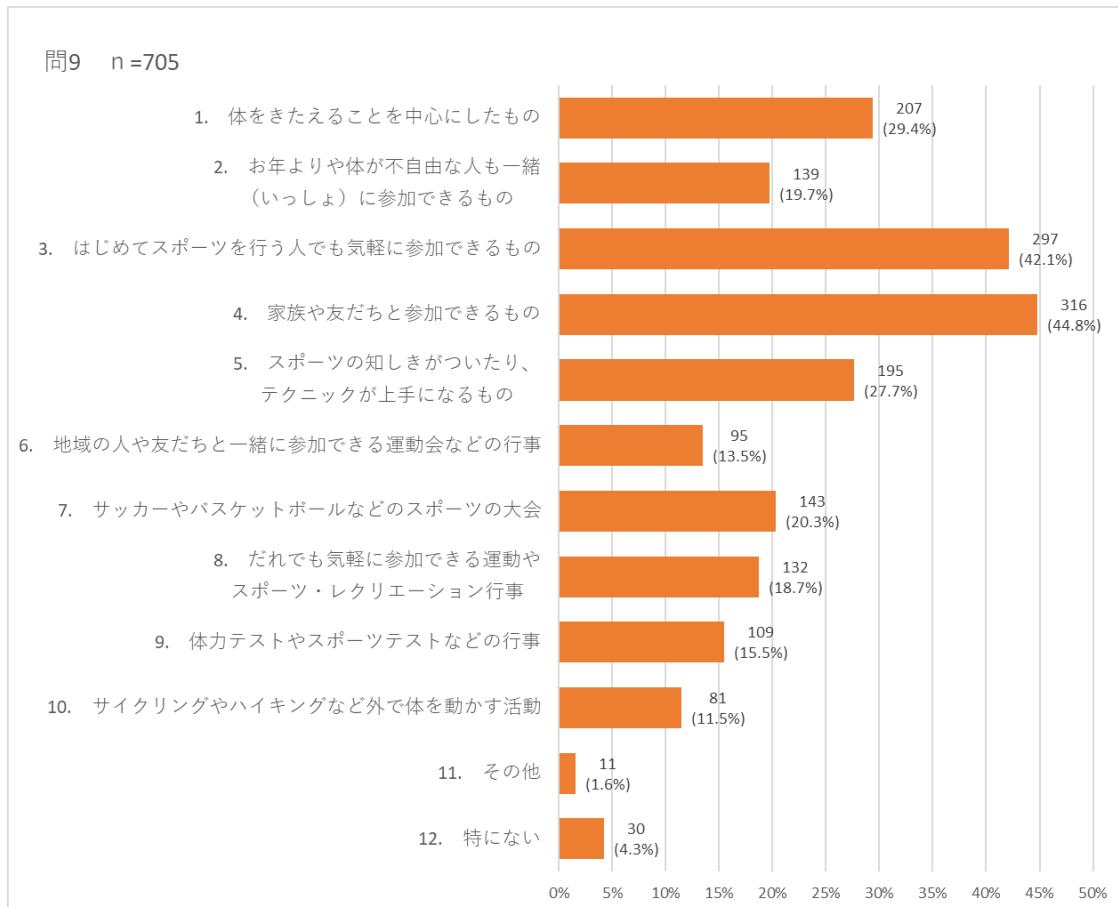
2 分野別にみる現状と課題

(1) こどもたちのスポーツ環境

小学生アンケートでは、多くの児童が様々なスポーツを体験したいと回答しており、スポーツ教室や体験イベントへの関心も高い結果となりました。また、トップアスリートとの交流を希望する声も多く、本市の特色を生かした取り組みへの期待がうかがえます。

一方で、スポーツを始めるきっかけや、様々な競技に触れる機会の充実が課題となっています。

【どのようなスポーツの教室や行事があったらいいと思いますか】

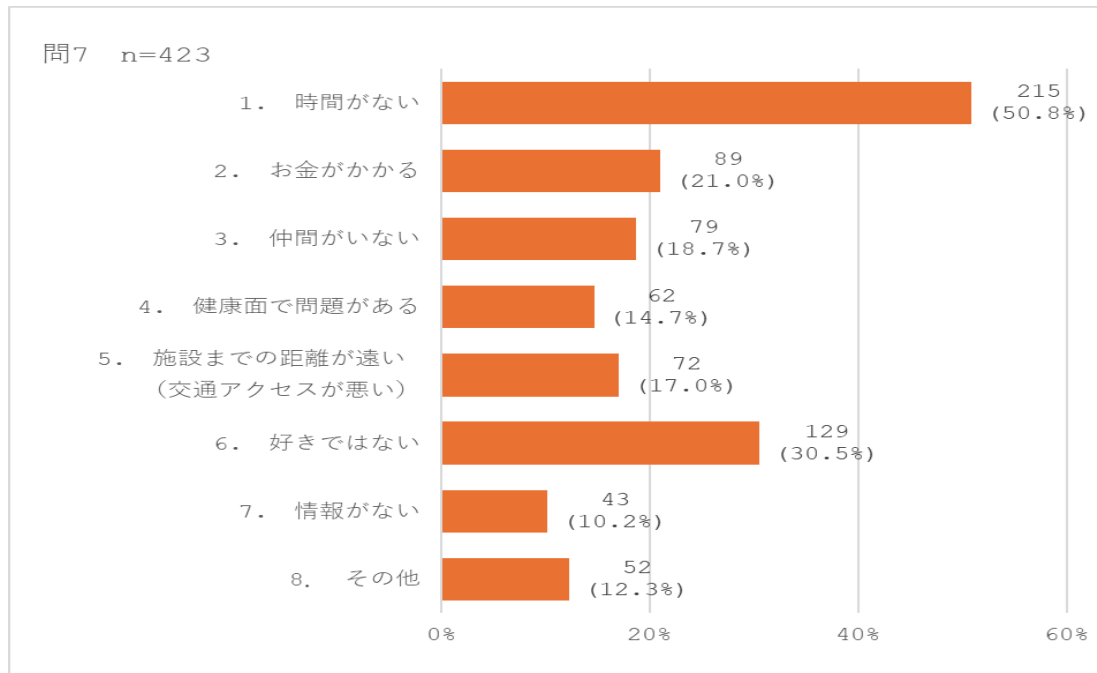


(2) 生涯スポーツ

市民アンケートでは、健康づくりや運動不足解消を目的にスポーツを行う人が多い一方、「時間がない」「一緒に行く仲間がいない」などを理由に、スポーツを十分に実施できていない人も見られました。

ライフステージや目的に応じて、誰もが気軽にスポーツを始め、継続できる環境づくりが求められています。

【運動・スポーツをしない理由は何ですか】



(3) 競技スポーツ

トップアスリートとの交流事業や競技スポーツへの関心は高く、こどもたちはトップアスリートから直接指導を受けたり、交流したりする機会を望んでいます。

また、スポーツ関係団体からは、競技人口の減少や指導者不足などの課題が挙げられており、将来を担う選手や指導者の育成が求められています。

(4) スポーツを支える人材

スポーツ関係団体への聞き取り調査では、指導者や役員の高齢化、後継者不足、会員数の減少などが共通の課題として挙げられました。

地域スポーツ活動を継続していくためには、指導者やボランティアなど、スポーツを支える人材の育成・確保が必要です。

図表をいれる 団体の課題

(5) スポーツ環境

アンケートでは、スポーツ施設の設備や利用時間、予約方法などの改善を求める意見が多く寄せられました。また、スポーツ教室やイベントなどの情報が十分に届いていないという意見も見られました。

既存施設の有効活用を図るとともに、利用しやすい施設運営や情報発信の充実など、スポーツ環境全体の向上が求められています。

図表をいれる	改善要望
--------	------

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

「誰もが、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、スポーツを通じて笑顔と活力あふれるまち いんざい」

スポーツは、健康保持・増進や体力向上だけでなく、人と人との交流を促進し、地域コミュニティの活性化や共生社会の実現など、多様な価値を生み出します。

また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」という多様な関わり方を通じて、一人ひとりの豊かな生活につながるとともに、地域への愛着や誇りを育み、活力あるまちづくりにもつながります。

本市では、豊かな公園環境や充実したスポーツ施設、地域で活躍するトップアスリートなどの資源を生かしながら、こどもから高齢者まで、障がいの有無にかかわらず誰もがライフステージに応じてスポーツに親しみ、それぞれの目的や関心に応じてスポーツに関わることができる環境づくりを進めることで、スポーツを通じた笑顔と活力あふれるまちの実現を目指します。

2 基本方針

基本方針1 こどもたちへのスポーツの多様な選択肢の提供

こどもたちが様々なスポーツを体験し、自分に合ったスポーツと出会える機会を充実するとともに、本市の特色であるトップアスリートとの交流を通じて、夢や目標を持つきっかけづくりを推進します。さらに、学校部活動の地域連携・地域展開を見据え、スポーツ関係団体等と連携しながら、地域におけるスポーツ活動の受け皿づくりと多様なスポーツ機会の確保を図ります。

基本方針2 生涯にわたるスポーツ機会の創出

こどもから高齢者まで、市民一人ひとりがライフステージや目的に応じて気軽にスポーツに親しみ、健康づくりや生きがいづくりにつながる環境を整えます。

また、スポーツを支える人材や団体の育成を進め、地域スポーツ活動の活性化を図ります。

基本方針3 世界を目指すトップアスリートへの支援

本市ゆかりのトップアスリートや将来有望な競技者が安心して競技活動に取り組める環境を整えるとともに、その活躍を地域スポーツの振興やこどもたちの夢の実現につなげます。

基本方針4 スポーツを通じた共生社会・地域連携の推進

障がいの有無や年齢、性別にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめる環境づくりを進めるとともに、スポーツを通じた交流や地域コミュニティの形成を促進し、誰もが活躍することができる共生社会の実現を目指します。

基本方針5 スポーツ環境の充実

既存スポーツ施設や学校体育施設、公園などを有効活用するとともに、安全で快適なスポーツ環境の整備や施設の利便性向上を図ります。

また、市民が必要なスポーツ情報を容易に入手できるよう、情報発信の充実を進めます。

3 施策体系

基本方針1 こどもたちへのスポーツの多様な選択肢の提供

施策1-1 こどもたちが様々なスポーツに触れ、楽しむことのできる環境づくり

施策1-2 本市の地域資源であるトップアスリートとの接点を活かしたスポーツ振興

基本方針2 生涯にわたるスポーツ機会の創出

施策2-1 スポーツを通じた健康づくりと生涯スポーツの推進

施策2-2 スポーツを始めるきっかけづくり

施策2-3 スポーツを支える人材・団体の育成

基本方針3 世界を目指すトップアスリートへの支援

施策3-1 世界を目指すトップアスリートへの支援体制の充実

基本方針4 スポーツを通じた共生社会・地域連携の推進

施策4-1 障がい者スポーツの理解促進と参加機会の充実

施策4-2 スポーツを通じた地域交流の推進

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策5－1 スポーツ施設の有効活用

施策5－2 学校体育施設の有効活用

施策5－3 スポーツ情報の発信強化

4 施策体系図

作成中

第4章 施策の展開

基本方針1 こどもたちへのスポーツの多様な選択肢の提供

施策1-1 こどもたちが様々なスポーツに触れ、楽しむことのできる環境づくり

現状と課題

こどもたちがスポーツに親しむ機会はあるものの、様々な競技を体験する機会は十分とは言えません。

また、小学生アンケートでは、多様なスポーツを体験したいという意見が多く、スポーツを始めるきっかけづくりが求められています。

また、学校部活動の地域連携・地域展開が進められる中、多様なスポーツ機会を地域全体で支える環境づくりが求められています。

施策の方向性

こどもたちが気軽に様々なスポーツを体験し、自分に合ったスポーツと出会う機会を充実します。

主な取組

- スポーツ体験教室の開催
- 多種目スポーツイベントの開催
- 学校・競技団体との連携による体験事業
- 地域スポーツ団体との連携

施策1-2 本市の地域資源であるトップアスリートとの接点を活かしたスポーツ振興

現状と課題

本市には世界や全国で活躍するトップアスリートやトップチームがあり、小学生アンケートでも交流を希望する声が多くありました。

施策の方向性

トップアスリートとの交流を通じて、こどもたちが夢や目標を持ち、スポーツへの関心を高める機会を創出します。

主な取組

- 学校訪問・スポーツ教室

- トップアスリート交流事業
- トップチームとの連携事業
- スポーツフェスティバルへの参加

基本方針２ 生涯にわたるスポーツ機会の創出

施策２－１ スポーツを通じた健康づくりと生涯スポーツの推進

現状と課題

健康づくりを目的にスポーツを行う市民が多い一方、年齢や生活環境に応じたスポーツ機会の充実が求められています。

施策の方向性

ライフステージに応じて継続的にスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

主な取組

- 健康スポーツ教室
- ニュースポーツの普及
- 高齢者スポーツ事業
- ウォーキング・健康づくり事業

施策２－２ 誰もが参加しやすいスポーツ機会の充実

現状と課題

スポーツを始めたいと思っても、きっかけがない人が少なくありません。

施策の方向性

初心者でも参加しやすいスポーツイベントや教室を開催し、スポーツを始めるきっかけを提供します。

主な取組

- 初心者向けスポーツ教室
- ファミリースポーツイベント
- スポーツ体験会
- スポーツ情報の提供

施策２－３ スポーツを支える人材・団体の育成

現状と課題

スポーツ関係団体では、指導者や運営スタッフの高齢化、担い手不足が課題となっています。

施策の方向性

地域スポーツを支える人材や団体を育成し、持続可能なスポーツ環境を構築します。

主な取組

- 指導者研修会
- スポーツボランティア育成
- スポーツ団体への支援
- 総合型地域スポーツクラブとの連携
- 地域スポーツ指導者の育成
- 部活動地域連携を担う人材の発掘・育成

基本方針３ 世界を目指すトップアスリートへの支援

施策３－１ 世界を目指すトップアスリートへの支援体制の充実

現状と課題

本市では世界や全国で活躍する選手が誕生していますが、競技活動を継続するための支援や競技力向上に向けた環境づくりが求められています。また、トップアスリートの活躍は、市民に夢や希望を与えるとともに、スポーツへの関心を高め、地域への愛着や誇りの醸成にもつながっています。

施策の方向性

将来有望な選手が安心して競技に取り組める環境づくりを進めます。

主な取組

- 全国・世界大会出場者への支援
- 競技団体との連携
- ジュニア選手の育成
- 表敬訪問・広報活動

基本方針4 スポーツを通じた共生社会・地域連携の推進

施策4-1 障がい者スポーツの理解促進と参加機会の充実

現状と課題

障がいの有無にかかわらずスポーツに参加できる環境づくりが求められています。

施策の方向性

障がい者スポーツやユニバーサルスポーツの普及を通じて、誰もがスポーツを楽しめる環境を整えます。

主な取組

- パラスポーツ体験会
- ユニバーサルスポーツ教室
- 関係団体との連携
- 障がい者スポーツ大会への支援

施策4-2 スポーツを通じた地域交流の推進

現状と課題

本市では、スポーツイベントやスポーツ教室などを通じて市民の交流が図られているほか、トップアスリートや各種スポーツ団体との連携による取組も行われています。一方で、多世代や地域団体同士が継続的に交流できる機会は限られており、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化が求められています。

施策の方向性

スポーツイベントや地域団体との連携を推進し、多世代が交流できる機会の充実を図ることで、地域コミュニティの活性化につなげます。

主な取組

- スポーツフェスティバル
- 多世代交流事業
- 地域スポーツイベント
- 地域団体との連携

基本方針5 スポーツ環境の充実

施策5-1 スポーツ施設の有効活用

現状と課題

既存施設を有効に活用するとともに、安全で利用しやすい環境づくりが求められています。

施策の方向性

スポーツ施設の計画的な維持管理と利便性の向上を図ります。

主な取組

- 施設の計画的な修繕
- 利用環境の改善
- 利用案内の充実
- 民間施設との連携

施策5-2 学校体育施設の有効活用

現状と課題

学校体育施設は地域スポーツの重要な活動拠点となっています。

施策の方向性

学校教育に支障のない範囲で地域利用を推進し、市民のスポーツ活動の場を確保します。

主な取組

- 学校体育施設の開放
- 利用方法の改善
- 地域スポーツ団体への利用支援
- 利用ルールの見直し

施策5-3 スポーツ情報の発信強化

現状と課題

アンケート調査では、スポーツ教室やイベントなどの情報が十分に届いていないとの意見が見られました。市民がスポーツ活動に参加するきっかけとなる情報を容易に入手できるよう、分かりやすく効果的な情報発信の充実

が求められています。

施策の方向性

市民がスポーツに関する情報を必要な時に容易に入手できるよう、ホームページや SNS 等のデジタル媒体を活用しながら、分かりやすく効果的な情報発信を推進します。

主な取組

- スポーツ情報の発信
- イベント、教室情報の発信
- 順天堂大学との連携事業の情報発信

第5章 計画の推進

1 計画の推進

本計画の基本理念の実現に向けて、市民、スポーツ団体、学校、企業、大学、指定管理者など、多様な主体との連携・協働のもと、各施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、社会情勢や市民ニーズの変化に対応しながら、関係部署との連携を図り、誰もがスポーツに親しめる環境づくりを進めます。

2 成果指標

本計画では、施策の成果を客観的に把握するため、基本方針ごとに成果指標を設定します。

なお、成果指標については、第4章に掲げる各基本目標に対応した指標を設定し、計画期間内の目標達成を目指します。

ここに成果指標一覧を掲載

3 進行管理・評価

本計画の着実な推進を図るため、PDCA サイクルによる進行管理を行います。

毎年度、各施策の実施状況及び成果指標の達成状況を確認するとともに、印西市スポーツ推進審議会へ報告し、意見や助言を踏まえながら評価・検証を行います。

評価結果については、次年度以降の事業改善に反映させるとともに、社会情勢やスポーツを取り巻く環境の変化、市民ニーズなどを踏まえ、必要に応じて施策や事業内容の見直しを行います。